

# エイコーベントフィルター 大容量VCM-2400、4800型

## 1. 製品について

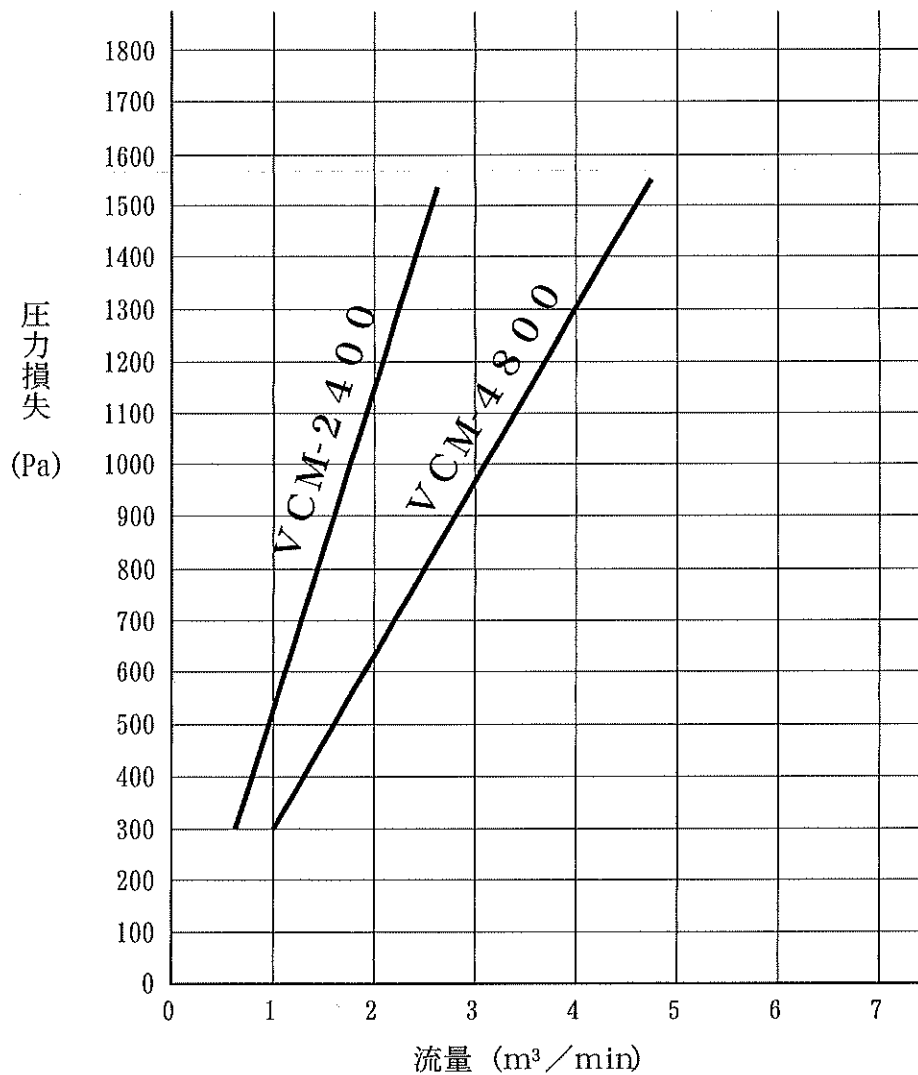
### ◆エイコーベントフィルターVCM型の特長

- ・ P T F E製の多孔質メンブレンのろ過材によって空気中に浮遊する $0.2\mu\text{m}$ 以上の微じんを完全に阻止します。
- ・ 円筒状の形をしていますが、タンクの空気孔へ直接ボルト止めすることができます。
- ・ オートクレーブによる殺菌ができます。

### ◆通気量と空気抵抗の関係

- ・ 定格流量にて約 $1500\text{Pa}$ の差圧が生じます。

流量表



## 2. 取扱について

### ◆フィルターの取付け

新しいフィルターは次項に示す手順によって一度殺菌してお使いください。タンクへの装着にはOリングを忘れずに挟み込んでから工具による締め付けをしてください。水滴のかかる場合には防滴カバーを取付けてください。

※ 防滴カバーの取付けは軽く手で回し必要以上に締め付けしないでください。

### ◆フィルターの殺菌

ベントフィルターの殺菌はオートクレーブ内で行ってください。

121℃のスチームで20分加熱することによって完全に殺菌されます。殺菌に当っては防滴カバーを外しフィルターエレメントのみをオートクレーブへ入れます。殺菌中に水滴がフィルターエレメントに付着したり、折角殺菌したフィルターエレメントを取付け前に再汚染させる恐れがありますからフィルター全体を耐熱性フィルムなどでカバーしてください。

※ 殺菌灯や乾熱器による殺菌は避けてください。

### ◆フィルターを取付けたままの殺菌について

フィルターを取付けたままタンクを殺菌することは構いませんがフィルターから蒸気をふかしながら殺菌する場合、ろ材の折ひだの間に水が溜り、後の通気の際一時的に空気抵抗が高まる場合があります。

### ◆フィルターエレメントの交換

使用時間と共にフィルターエレメントは次第に目詰まりをして空気の流れが悪くなります。再生は出来ないので交換します。タンクからの排出速度の低下が最も端的にフィルターが目詰まりを示します。フィルターエレメントの目詰まりを正確に知るためにはオプションとしての微差圧計をフィルターエレメントの頂部に取付け測定してください。

差圧を直接測定した場合には、初期差圧の2倍程度を一応交換の目安としてください。フィルターエレメントはフランジアダプターの下側から6ケのボルトでフィルターベースに固定されていますのでモンキー等【工具】によって取外します。フランジアダプターの上にセット用Oリングとフィルターを置きボルトで締め付けます。ボルトはOリングの全面が均等の厚さをとるように軽く締めて固定します。

### ◆使用上の注意

フィルターエレメントのろ材、エンドキャップ、エンドプレートは耐熱性の合成樹脂及びステンレスを用いており薬品の大部分に耐えますが強酸と有機溶媒に侵されることがありますので表面の汚れを除くためには中性洗剤を用いてください。またこれ等の材料は落下などの衝撃に弱いので充分注意するようにしてください。

## エイコーフィルター株式会社

本社 〒174-0054 東京都板橋区宮本町47-2  
電話 03(5914)5101番(代表) FAX 03(5914)5109  
大阪営業所 〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎6-8-6  
電話 06(6940)6861番(代表) FAX 06(6940)6863

30.09.500